

令和5年3月 自己評価結果（ドットジュニア さぎぬま 第1教室（児童発達支援・放課後等デイサービス））

厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」に基づいて定期的に自己評価を実施しています。

この自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見・ご要望をもとに、業務・サービスの改善をしていくことを目的としています。

	評価項目	利用保護者様からのご意見、ご感想 <アンケート調査：R5/11/16～R5/11/26>	事業所の取り組み状況改善の方針等 <職員アンケート及び検討：R5/12/1～R6/1/31>
環境・体制整備	訓練室等の適切なスペースの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中の利用時間を延長してほしい。フルタイムで働く親にとって一つの悩みです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様皆様にご満足いただける形で随時調整を進めてまいります。 ・子どもたちひとり一人が安心して過ごすことができるように、毎日設備の点検・消毒を実施しています。 ・お子様のご様子に合わせて環境設定を調整できるようにしてまいります。
	職員の配置状況		
	事業所内の安全対策		
	環境設備の衛生管理		
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ・HUGが便利と感じています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き日々の記録や、月の活動予定表につきましては、HUG内で確認できるようにしてまいります。
	職員の資質の向上、研修の機会の確保		
	運営支援システムHUGの運用		
適切な支援の提供	適切なアセスメントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・元々ポジティブですが、曖昧にせず「こんな時はマインドフルネスだ!」と自身をコントロールする術を習って実践するなど前向きに過ごさせています。 ・しっかり自分の意見を言えるようになってきた ・周りを見る力がついた ・ルールを守る事の大切さを学べているので良かったです。 ・社会貢献に繋がるような外部との関わりが（町内の掃除とか）出来たらいいなと思います。それを通じて、周りの方が子供達を理解してくれるような場になる機会がもてると嬉しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所など関係機関との連絡調整も行いながら定期的にアセスメントを行い支援計画を作成しています。統一したアセスメントシートを使用しています。 ・引き続き、支援計画に基づきながら成長につなげていくことができるように支援してまいります。
	ニーズや課題の客観的な分析、個別支援計画の作成		
	適切な活動プログラムの立案		
	支援開始前の支援内容や役割分担の確認		
	支援終了後の振り返り		
	適切なモニタリングの実施		
	各種記録の正しい作成、保管		

関係機関や保護者との連携	サービス担当者会議の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の丁寧な関わりに感謝しています。今後、親自身の関わり方なども更に学べればと思います。 ・送迎時には様子を聞かせて欲しい。相談にはなるべく早めにとってほしい。 ・（児童が）忘れ物した時落ち込む ・子供からノビルキッズでの様子を聞くことが難しく、どのように過ごしているのか気になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の支援のご様子を見ていただけるような機会も設けられると良いと考えております。 ・日頃より、様子についてしっかりとお伝えできるようにも努めてまいります。
	学校との情報共有、連絡調整		
	子どもの発達状況や課題の共通理解		
	相談に対する必要な助言と支援		
	学校卒業時に他の障害福祉サービス移行等のサポート		
	事業所外の専門機関等との連携		
	ペアレント・トレーニング等の支援		
保護者への説明責任等	契約時の丁寧な説明（支援の内容、利用者負担額等）	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の際に、車に先生が一人しか乗っていないので、誰かが降りるときにその先生も降りるので、車に残っている子は大丈夫かな？と心配になることもある。 ・送迎時には様子を聞かせて欲しい。相談にはなるべく早めにとってほしい。 ・（対面での）面談が一度もおこなわれていない ・通所の際、交通ルールを守れているのか心配です。何度も伝えていますが、横断歩道を確認せず渡ってしまうため心配な場所があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の他、モニタリングや日々のご連絡の中で、保護者の皆様とやり取りができる機会を確保していきたいと思っております。 ・保護者の皆様や他事業所との連携も含め、さまざまなニーズに対応できるようなプログラム作成を継続してまいります。
	苦情対応の体制整備、発生した場合の迅速かつ適切な対応		
	会報の発行等の事業所の情報発信		
	個人情報の適切な取り扱い		
	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮		
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの対応はどのようにしていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのお子さまについて、アレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質の摂取や接触がないよう留意しております。
	緊急時対応の保護者への周知		
	定期的な避難訓練等の実施		
	虐待防止、身体拘束についての職員研修の実施		
	ヒヤリハット事例の事業所内共有		

満足度	子どもが通所を楽しみにしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・通所する意味があるのかが今のところ実感としてない。 ・生き生きと楽しそうに生活するようになった。明るくなった。 ・できることが増えた。褒めてもらえることが嬉しいようだ。 	<p>・貴重なご意見ありがとうございます。ご意見も参考にしながら引き続きお子様の成長の助けとなるよう、また楽しんで通うことのできる事業所を目指してまいります。支援方法や教室運営等について、ご相談がございましたらいつでもご連絡ください。</p>
	現状抱える不安や悩み	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も子供が安心できる場所であってほしいです。 ・生活習慣が安定したり、出かけることが増えたりしました。感情のコントロールも随分良くなりました。 ・学習やお友達同士のやり取りについて、特性を踏まえた上で丁寧に対応していただける場ができてよかったですと思っています。 ・大声で泣くことが減った ・自宅以外の楽しく過ごせる場所が増えた 	
	通所を開始して良かったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで通っています。学校以外の居場所があることがとてもありがたいです。通所した日は自己肯定感も高く落ちついており、家庭でも穏やかに過ごさせています。 	
	今後期待したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・登校がづらい日もノビルなら行く、と言うので学校以外に居場所があることが大変ありがたいです。 ・自己肯定感が上がった 思いやりのきもちが増した ・以前より、自分から話をしてくれるようになったのと、自発的に準備したりする事が増えた。 	